

伊藤圭介著

山城部

日本產物志

紀元二千五百
三十三年刊行

文部省

日本產物志前編凡例

- 一 我邦諸國所產ノ鑛、植、動ノ三物極メテ夥多ニメ一時之ヲ蒐羅シ大成シ得ベキニ非ズ故ニ斯編ヲ撰ムニ方テ僅ニ方今耳目ニ觸ル、ノ物品ヲ臚列スル而已ニシテ遺漏最尠カラズ且各地ノ產物時々隱現アリテ往年實ニ之ヲ產スト雖凡近世絶テ之ヲ觀ザルモノアリ他日又新ニ檢出ノ品モ亦多カルベシ斯ノ如キハ皆後編ニ於テ增訂スベシ
- 一 其地自生ノ品ニ非ズト雖凡之ヲ培養シ食物藥用等ニ供スル者モ亦ソノ槩略ヲ舉グ

日本産物志前編凡例

一 我邦諸國所産ノ鑛、植、動ノ三物極メテ夥多ニメ一時之ヲ蒐羅シ大成シ得ベキニ非ズ故ニ斯編ヲ撰ムニ方テ僅ニ方今耳目ニ觸ル、ノ物品ヲ臚列スル而已ニシテ遺漏最尠カラズ且各地ノ産物時々隱現アリテ往年實ニ之ヲ産スト雖近世絶テ之ヲ觀ザルモノアリ他日又新ニ檢出ノ品モ亦多カルベシ斯ノ如キハ皆後編ニ於テ增訂スベシ

一 其地自生ノ品ニ非ズト雖凡之ヲ培養シ食物藥用等ニ供スル者モ亦ノ槩略ヲ舉グ

一 諸鑛類未ダ分析ヲ經ズ其質詳悉ナラザル品ハ姑ク鑛石等ト記シ分析家ノ鑒識ヲ俟ツ又温泉ノ如キハソノ原質未タ詳ナラザル者ト雖モ間々ソノ出處ヲ附載シ亦他日ノ檢査ニ備フ

一 介品ノ如キハ殊ニ其數極テ多シ玩介家ノ呼ブ所定名無キモノ少ナカラズ今只ソノ名最著シク人目ニ瞭然タルモノヲ載スルノミ

一 凡ソ其圖ヲ舉ル者ハ必ズ奇品ニ限ルニ非ズ多クハ名産較著ノ者ニシテ或ハ民間有用ノ品或ハソノ形狀欣賞スベキモノ又ハ其性有毒ニシテ人ニ害アルモノ等

ニ係ル

一 斯編專ラ鑛植動ノ天造物ヲ主トシ未ダ人工諸物ニ及ボスヲ能ハズ但石柝雷斧其他世ニ神代石等ト稱スル諸古物ハ皆往昔人工ノ品ニ係ルト雖モ間々亦之ヲ附載シ博物温古ノ一助トナス

一 篇中載スル所ノ鑛植動ハ雅名俗名ヲ論ゼス務テ世人通知スル所ノ稱ヲ舉テ其別名等アルモノハ間々ソノ下ニ之ヲ注ス然ト雖モ各地多クソノ方言ヲ殊ニシ隨テ異名ノ夥多ナルト固ヨリ之ヲ悉スヲ能ハス今神原芳野假字ヲ刪正シ小野職慈禽類ヲ校訂シテ其名稱正

ボクユセキ 硯材トナス
ボサツイシ 長石 白色ニシ
ベツガラツチ 宇治郡小山村

トイシ 砥石
雄鷹ヶ峯 葛野郡原村鳴瀧
澤池向山 宇治郡田原

等郷 〇カサギ 子相樂郡木屋村南山城
山又鳴瀧 赤白ノ二種 アダリ

川宇治 赤白ノ二種 アダリ

リヨウゲセキ 石灰礦ノ屬ナリ
ヲカザキツチ 愛宕郡岡寄

ワウセキシ 黄石脂
醍醐八瀬

カニイシ 石蟹 宇治田原介石谷

カビセキ 介化石 深草燒物土取場寶塔寺宇治田原介石

カモガハイシ 燒黒色ノ釉ニ用井ル所ナリ

今出川丸 太町邊

カセスナ 盆山ノ時砂ニ用ユ

ツラ、イシ 觀音後ノ滝

ムギメシイシ 加茂川

クロボコツチ 花壇ノ土ニ用ユ草木ヲ培養

クロダニツチ 陶器ニ用キ

ヤマシナツチ 山科郷

ヤキバツチ 鍛冶用キルノ品

カバミイシ 玉英 鷹ヶ峯貴

カセヤマツチ 陶器ニ用井ル

タマイシ 綴喜郡湯屋谷

ムラサキイシ 貴船山

ムシクヒイシ 愛宕郡大原

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ムシクヒイシ 村鞍馬嵐山

ケイセキ 穀石 鞍馬僧正
コウセキ 綴喜郡湯屋谷
コノハイシ 木葉石 深草燒

コクセキ 音羽山 尾山 觀
ゴシキツチ 其色赤シ 又佗色
テツシヤ 砂鐵 稻荷山

アラシヤマイシ 石 灰 礦 屬 ナリ
サクライシ 如意ヶ岳 稻荷山 サビツチ 色ノ土ニシテ 壁ヲ

塗ルニ用井ル 清水 山麓鳥部ノ法國寺邊
キリコスナ 石中ニ孕ム 大原火打石谷

アツカハイシ 同所
ケイセキ 穀石 鞍馬僧正
コウセキ 綴喜郡湯屋谷

コノハイシ 木葉石 深草燒
コクセキ 音羽山 尾山 觀
ゴシキツチ 其色赤シ 又佗色

テツシヤ 砂鐵 稻荷山
アラシヤマイシ 石 灰 礦 屬 ナリ
サクライシ 如意ヶ岳 稻荷山 サビツチ 色ノ土ニシテ 壁ヲ

塗ルニ用井ル 清水 山麓鳥部ノ法國寺邊
キリコスナ 石中ニ孕ム 大原火打石谷

草寶塔寺山 稻荷山 泉涌寺 方言ナガイモイシ 又ヤマノイ
今熊西ノ岡 鞍馬山 岩倉山 等ヨリ出ル

キラ 雲母 比叡山 雲母 坂一 乘寺村 相
キクサリツチ 紀伊郡深草

キサウ 馬腦 加茂川 大堰川 石垣石橋等ニ
シホフキツチ 紀伊郡深草

シヤリツチ 池等ニ作ル 石 灰 和シ 人家小溝 盆
シヤクセキ 赤石 脂 東山 泉涌寺 山等 持院 山

シヤクセキ 赤石 脂 東山 泉涌寺 山等 持院 山
其質 月輪 愛宕 醍醐

粘強 其質 月輪 愛宕 醍醐
ヒウチイシ 色ノ者上品 此品 黒

馬大谷火打石谷上加茂西岩倉桂川葛野郡梅ヶ畑村
 ○色青キモノハ宇治山中○白色ノ者ハ愛宕山
 ヒノヲカツチ宇治郡日岡村モククワセキ木化石宇治
 セイガンジイシ假山石形太湖石ニ似テ色黒褐孔穴ア
 挿ミ裁ヘ水盆中ニ置テ愛玩
 スベシ清水ノ奥清閑寺
 ス井シヤウ白石英宇治郡山科郷紀伊郡泉涌寺山綴喜
 窟○サメノ如シヤウ短小ナル石英多ク床ニ連リ生
 レ形較皮ノ如シ故ニ名ク愛宕月ノ輪相樂郡南笠置
 村○スキシヤウスナ細小ノ者ニシ
 テ砂中ニ雜リアル紀伊郡稻荷山
 スクモ膏風茂スバリエシ硯材石質堅ク
 ヲサラサイレト云加茂川高野川○ツキノワイ
 色青黒ナリ月輪○高雄ノ産ヲ以テ硯材ニ用キレ
 佳ナラヌ又嵯峨
 岩倉ヨリモ出ツ
 スバツチ紀伊郡稻荷山前

附

炭酸水 近來檢出ノ説ニ相樂郡上市市村木津川稻竈巖石
 ノ間ニ湧出スル冷泉アリ味甘酸ニシテ鹹ヲ帯ビ
 炭酸氣飽和シ些少ノ曹達鏡分ヲ含ミ其質舶齋ノ
 炭酸ヲ逸トルニ同シト明石博高及ビリウドル
 一ニ出ツト云
 驗ニ出ツト云

日本産物志 前編 山城上

○植物部 上

穀菜果實民用類

イモ 紫芋 東寺邊ニテハ水田ニモ種ウ大ニレ
 イモ 高サ五六尺許ニ至ル芋ノ味佳ナラズ
 インゲンマメ 眉兜豆 ニンジン 胡蘿蔔 九條邊ノ
 津村ノ品ハ白色ナリ 千ヤ茶 濃茶、薄茶ハ宇治ヲ帶
 又ナハ池、伏見、大池、宇治、洛、洛、菩薩
 カボチヤ 南瓜 相樂郡鹿ヶ谷ヨリ出ルヲ
 カブラ 蕪菁 アフミカブラ 九葉蕪菁 聖護院ヨリ出ス圍ミ二尺
 カキ 柳 ○オムロガキ 嵯峨 ヨリ出ダス ○ゴレヨガキ 方柳 ○
 其頭尖リタル者ナリ ○キザハシ 柳 嵯峨ノ産ヲ佳
 トス ○サルガキ 猴栗 漆樹 ノ小キ者ニシテ皮ヲ去テ

日本産物志

前編 山城上

五

大 郡 省

サシセウ 秦椒 鞍馬山ノ産ヲ上品トス又此樹皮ヲ刺シ
 食用トナスカラハト云多ク雄木ノ皮ヲ採
 用 ユスラムメ 櫻桃
 ズナ 水菜 雍州府志云東寺九條邊專種之元不糞穢
 而引流入水於畦間耳故称水入菜又土生村ニテ作
 ル者ヲミブナト云上
 品 ナリ葉ニ缺刻ナレ
 モ 桃 伏見又イナ
 ダモ、光桃ヒ品
 スイタクキナ 梵菜
 上加茂
 味 綠 瓢 黄 ニ シ テ
 甘 美 ナ リ
 セリ 水 蕪 宇 治 ノ 産 ハ
 根 最 長 ク シ テ 白 シ
 ス 井 ク ヲ 西 瓜 相 藥 郡 木 津
 ヨ リ 出 ル 者 皮 色 淡
 ス モ 、 李

藥品及雜草木類

各地培養シ出スノ
品ハ^④符ヲ附ス

清水醍醐東山邊

イハナシ 有圖
 イナモリサウ
 トチシバ 山 薯
 リウエフゴシツ 牛 膝
 タラノキ 榎木 此芽ヲ食用トナス醍
 ヲノキ 醐ノウドメト云名産ナリ
 ツルクワンジユ
 ウバガ子モチ 杜 荃 山
 ヲハミヅザクラ イヌガクラ 實ヲ塩蔵シテ食
 用トス祇園ニ軒茶屋名物ナリ
 クエフカヘデ 高倉院陵上
 クモラン

ヤマソテツ 貫衆

ミヤコグサ 百脈根

ヒトツボク口

白川山御蔭如意ヶ嶽邊

イチヤクサウ 鹿蹄草

ハナウツボ 列當

ヲドリエサウ 續斷

カハノリ 漢苔

ダイサイコ 南柴胡

ムメバチサウ

ヤマア井 大青 有圖

ジュズ子ノキ

ビヤクダンノキ 左紐栢 東福寺中

ハルリンダウ 石龍膽

リウナウギク

カハラフヂ 雲實

ガハユリ 蕎麥葉貝母

タニゼリ 前胡

オホヤマハコベ

クロクサ 漏蘆

アカモノ

サ、ユリ 百合

メギ 小蘗 有圖

シラカハバウフウ 石防風

ヒメヒゴダイ

ゼガイサウ 白頭翁

比叡山

イハタバコ 苦苣苔

イヌボウ

マツムシサウ ワレバウギク 山蘿蔔 有圖

アマドコロ 萎蕤

キツ子ノヲ

シライトサウ 鴉葱

ジフニヒトヘ 夏枯草

モミヂハグマ 鬼督郵 一種

イトスゲ 崖稷

ハシバミ 榛

ニレモミ 根本中堂ノ前ニ栽ク傳

チヤルメルサウ

チヤセンシダ

ヲカラバナ

ワウレン 黄連 バイクツ

又大原、医王谷、鞍馬山ニ産ス

カタコユリ 車前葉山慈姑

カキノハグサ 巴戟天

有圖

ガジャウサウ

タカラカウ

レンゲツ、ジ 羊躑躅一種

ツクバ子ノキ

ツクバ子サウ 王孫

クリンサウ

ヤマハクカ

ヤマブキシノウ

マルハノイチヤクサウ 紫背天葵

マツカゼサウ

ブナノキ

フクジュサウ 側金盞花

エイザンハグマ 鬼督郵一種

エイザンカタバミ 酢漿草一種

有圖

エイザンユリ 天香百合

有圖

キツリノ子

キクエフヤマボクチ

ミ子バリ

シホガマギク 馬先蒿

シヤラ

ヒメシヤガ

ヒキオコシ

ズミノキ

大悲山

イハバリ

イハクルマ 冬青一種

イハブキ
ハルニレ 榆

イツキ 四照花
ハクウンボク

チドリサウ
ダイモンシサウ 虎耳草一種

タイミンガサ
ノグルミ 兜櫃樹

クルマバハグマ 鬼督郵

クルマミヅキ

クマガヘサウ 韓氏鬼督郵

ヤグルマ 鬼燈檠

ヤマトウチハ

ヤマシヤクヤク 草芍薬

ヤシヤゼンマヒ

フヂシダ

コンロシサウ

エビ子

エンレイサウ 有圖

アサガラノキ

サハダチ

サナゲイチゴ

キハダ 蕨木
又 芥生

有圖

キツ、シ 石南葉羊躑躅

キセワタ 藜菜

ミヤマシグレ

シヤクナギ 石南

ヒノキゼンマヒ

スミムシサウ 紫雲菜

貴船鞍馬芥生北山邊

イハガサ

イチリンサウ 菟葵一種

イカリサウ 淫羊藿

バイクワツ、ジ

ハルトラノヲ 紫参

ハナヤスリ

ニンギヤウサウ

ホウノキ 高州厚朴

オホバ、ワウセイ 白及黄精
 オホツバラフデ 漢防已
 クロモジ
 クマノミヅキ
 クサボタン
 クサビヨウ
 ヤハラグサ 木黄芪
 ヤウラクツ、ジ
 ヤマカシウ 粘魚鬚
 ヤマブキ 棟棠
 ヤブレガサ 兔兎傘
 ヤブデマリ
 マルバノホロシ 白英
 マタ、ビ 藤天蓼
 マツブサ 北五味子
 マメフデ 桂節花
 マンサク
 フタバアフリ 双葉細辛 有圖
 フタリシヅカ 及巳
 コバンノキ 檀一種

コガク 土常山
 コクサギ 常山
 ゴマナ オホルリサウ
 ゴマシホヤナギ 土藥樹
 コセウノキ 白瑞香 有圖
 コバメウツギ
 エンゴサク 延胡索
 テンニンサウ ミカハリサウ
 アハボ 外麻 三葉春
 アヲサギサウ
 アケビ 木通 コノ芽ヲ塩蔵シテキ
 サルノシヤウガ
 サハギク
 キカラスウリ 栝樓
 キブ子ダイウウ 土大黃
 キブ子ギク 秋牡丹 有圖
 キンギンレンゲ 金銀蓮
 キブ子エビ子 有圖
 ミルラン

本草綱目 卷之八 土部 常山 栝樓 秋牡丹 金銀蓮 土大黃 延胡索 白瑞香 三葉春 木通 外麻 粘魚鬚 兔兎傘 白英 北五味子 桂節花 雙葉細辛 檀 檀一種

ミツバウツギ 省沽油

ミヤマハハソ

ミヤマシキミ 茵芋

シロダモ 天竺桂一種

シラクチカヅラ 猕猴桃

シ、ウドンゲ 金銀蓮

ヒツジグサ 睡蓮

モミ根

セツブシサウ 菟葵

有圖

ミヅガシハ 睡菜

ミヤマタゴバウ 御菩薩池

ミスミサウ 犂耳細辛

シナノキ 菩提樹一種

ジヤカウサウ 麝草

ビロウドセキシヤウ 雀舌

ヒナノウス 山玄参

モミヂサウ

有圖

愛宕嵐山西山邊

イハカバミ

ハナワラビ 陰地蕨

チリツバキ 晚山茶 紙屋川地蔵院中 所栽千葉ニシテ紅
白交ル蒂ヨリ落ズシテ一辨ヅ、散ル故ニ名

カギカヅラ 釣藤 ナンテンハギ 盃頭菜

オホバウラボシ 金星草一種 大葉ノ者 ヤマウド ハナウド

コガシビ 薺花一種 白花ノ者 コシメバナ 珍珠花

アラギリ 梧桐 アマクサシダ 大ナル者

サハラグルマ 狗舌草 ミヅオホバコ 龍舌草

ミヅトラノヲ 大蓼

宇治八幡南山城邊

本草拾遺

三

本草拾遺

バレン	薄荷	ハコシ	補骨脂	バウフウ	防風
ハクカ	木津玉水辺	ハコシ	富野邊	ハコシ	補骨脂
ハンゲシ	ヤウクサ	ヂワウ	南山城	カシ	乾生薑
カハホリ	ツタ	カシ	ウキヤウラシ	タウキ	當歸
タカトウ	ダイ	タウキ	長池邊	ウキヤウラシ	オニバス
ムカゴ	サネレン	オニバス	クサフヂ	ケイガイ	荊芥
ウヤク	烏藥	クサフヂ	ケイガイ	テシモンドウ	天門冬
オホゼリ	芹葉釣吻	ケイガイ	長池邊	テシモンドウ	南山城
ヤマト	ウシム	テシモンドウ	南山城		
ケツケイ	決明				
	長池				
	富野邊				

サハウル	草蘭	キジツ	枳實
ユキワリ	ユキワリ	ミツニンジン	ミツニンジン
ミクリ	荆三稜	ミヤナツヅラ	ミヤナツヅラ
シノグ	ゼンマモ	シヤクヤク	芍藥
ビヤク	白芷	シヤクヤク	長池邊
セシキ	川芎	シヤクヤク	長池邊
	長池邊		

VACCINIUM HIRTUM THUNB.



イハナシ

イハナシ 越橘 同名

岩棠子 尺素 往來

コゲシ

イバナシ

スナイチゴ 北國

「ハツシニウム ヒルチユム」
山(羅氏)第八綱目
自然科日越橘科

城州 清水 其他諸州山側石傍ニ産ス小灌木様ニレテ高

サ僅四五寸地ニ布キ生ス葉ハ卵圓ニシテ端微ク尖リ

毛茸アリ互生ス早春枝端ニ三四花ヲ著ク筒様ニレテ

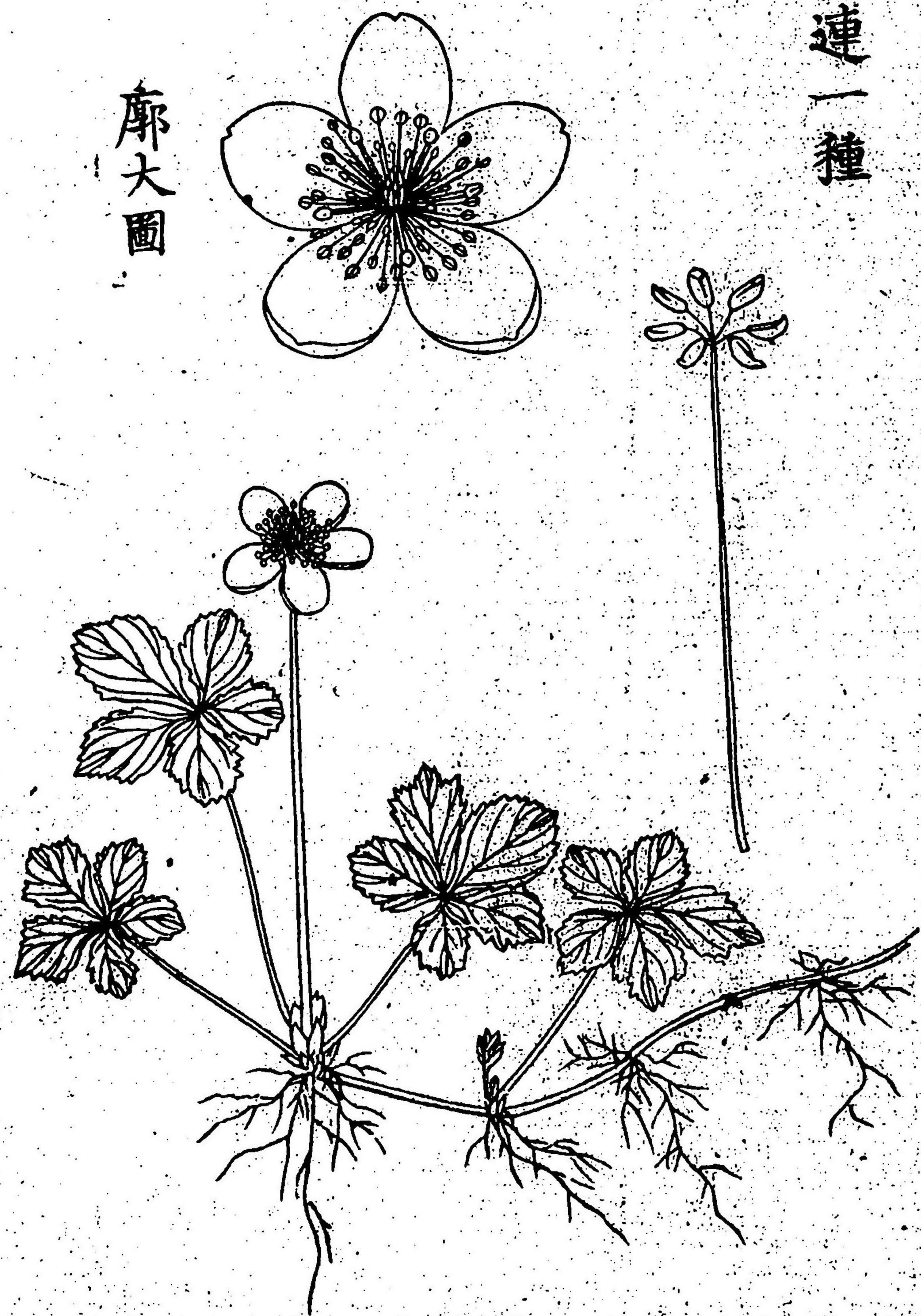
唇五裂シ淡紅色ハ雄一雌葉葉五出スソノ實ハ圓ク南

燭子ノ如クニシテ味酸甘小兒採リ食フ實中ニ黄色ノ

細子多シ

COPTIS QUINQUEFOLIA MIQ.

廓大圖



黄連一種

ハイクワウレン

バイクワウレン

五加葉ワウレン

ツルワウレン

ウバワウレン

ゼニワウレン

マルバワウレン

ヲバワウレン 木曾濃州

黄連一種

「ゴプネス クインケホリア」(林氏第十三綱第六目) 自然科目)毛茛科

城州 比叡山、大原、玉谷、鞍馬山等ニ多シ。其他濃信、勢甲等諸州深山ニ

生ス。一葉ハ五小葉輪次シテ形稍五加葉ニ似タリ。春分

前後葉間ヨリ一莖ヲ抽ク。二三寸紅紫色ヲ帯テ頂ニ

一花ヲ著ク。白色五瓣恰モ梅花ノ如シ。多雄。藥ニシテ十

雌蓋並ニ著シ蓋下ニ蜜槽五條アリ後小莢ヲ結ズ根ハ
 細鬚横行シ且連珠ヲナス 英人ノ譯ニ往々ゲンチヤナ
 其苦味効用相近キヲ取ル者ニシテ 黃連ニ充ルモノアリ
 其草ハ固ヨリ別ナリ混ス可ラス

ハナイカダ

イボナ 江州

マ、ツコ 信州

マ、コノキ 相州

チバミノキ

サイソウクワ

テツ、濃州

マ、コキ 野州

マ、コモ

ハゴノキ 紀州熊野



HELWINGIA RUSCIFLORA WILLD

本草綱目 卷之六 木部 苦木 苦木ノ葉ハ

「ヘルウインギヤ」
 城州比叡山、貴船濃、勢信、紀、其他諸州山林ニ産ス小木ニ
 シテ高サ數尺ニ過ギズ葉形卵圓ニシテ端尖リ細鋸齒
 アリテ互生ス雄本雌本アリ穀兩ヨリ立夏前後葉面ノ
 中央ニ一花或ハ二三花ヲ著ク其色淡緑雄花ハ四瓣四
 雄或ハ三瓣三雄蓋ノモノアリ雌花ハ四雌蓋實礎上ニ
 アリ後實ヲ結ブ熟シテ黒色ナリ山民コノ嫩葉ヲ摘ミ
 テ食用トナス

ヘビノボラズ

サハイバラ 江州

トリトマラス 勢州千草

バライズ 淡州

ホソキ

コガ子エシジュ 花戸

伏牛花 本綱灌木

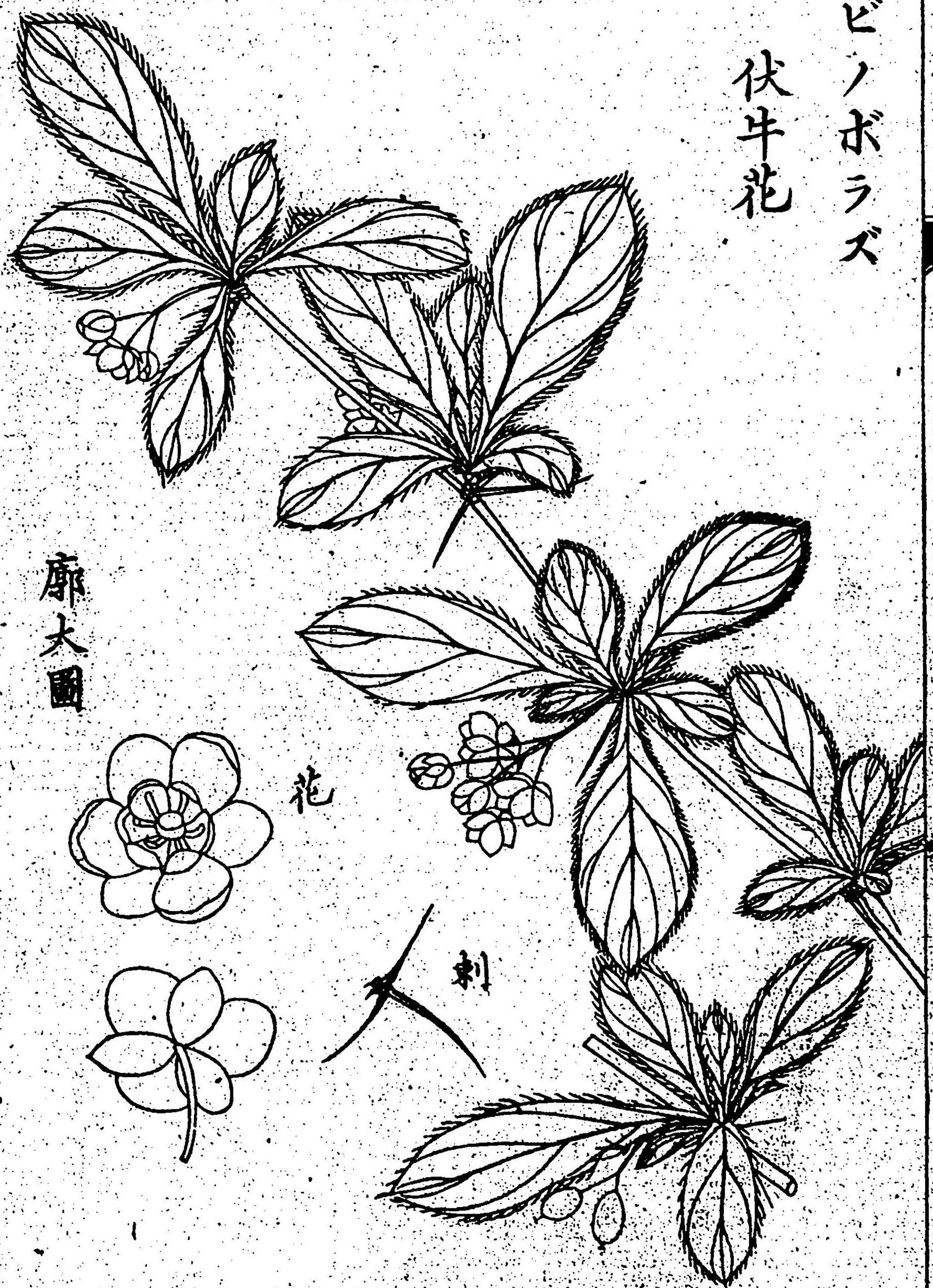
ベルベリス ヒルガリス 羅(林氏)第六綱第一目
自然科目小葉科

城州山百文 江濃信其他諸州山中ニ生ズ灌木ニシテ叢生

シ葉倒蛋狀ニシテ稍長ク周縁ニ細微ノ柔刺アリ柄短
 シ每節葉下ニ三刺或ハ一二刺アリ細長ニシテ銳レ穀
 雨後新葉ニ隨テ花梗ヲ出シ數花攢簇シ穂ヲナシ下垂
 ス六瓣黄色、六雄、一雌蓋實形楕圓小葉實ニ同クシテ稍

ヘビノボラズ
伏牛花

BERBERIS VULGARIS LINN.



小シ小雪後紅熟ス味酸ヲ帶グ内ニ二仁アリ此木幹根
 皮ニ内色深黄ナリ之ヲ用テ革糸ノ染料トナス又洋説
 ニ此實ノ絞汁ヲ以テ舍利別ヲ製ス熱病等ニ投用清涼
 收斂ノ効アリ檸檬、蘋果、苺等ノ代トナス又酢モ製スベ
 シト云野州等深山ニハ高サ丈餘ニ及フ者アリト云

リンバウキク

マツムシサウ

ケンモツカウ

ヤマギク

タヅマ 甲州、
信州、

タマムシサウ

キクナ 濃州、
信州、

ハコ子ギク

山蘿蔔 救荒本草

ノダイコン

スカビヨサ ヤホニカ 羅 (林氏) 第四綱第一目 (自然科目) 山芥菜科

城州山白川濃信尾其他諸州向陽ノ山野ニ産ス春苗ヲ生
シ地ニ搦シ葉四布シ形稍蘿蔔葉ニ似テ毛茸アリ翌春
臺ヲ抽テ葉ハ細ク缺裂シテ對生ス直上三四尺葉間ニ
梗ヲ出シ立秋前後每梗一二尺頂ニ一花ヲ著ク狀菊花
類ノ如ク小花聚成シテ瓣形中外相異ナリ但通常菊花
ノ如ク缺筒完筒ノ狀ヲナサズ周圍ノ花ハ上唇小ニシ
テ或ハ缺ナク或ハ一小缺アリ下唇ハ三裂ニコノ中ノ

SCABIOSA IAPONICA MIQ.

リンバウギク

山蘿蔔



廓大圖

日本植物志 山城上 二 一 八

一裂挺出長大ニシテ淡藍紫色中央花ハ筒様四裂色淡
白ナリ四雄蕊一雌蕊ニシテ其雄蕊ノ内二本ハ稍短シ
實ハ球ヲナシ稍卵圓ニシテ紫刺毛アリ葉ノ味殊ニ苦
シ木曾ノ山民コノ嫩葉ヲ摘ミ飯ニ和シ食ス且葉形菊
ニ似タルヲ以テキクナノ方言アリ

カツラ

乎加豆良 和名鈔

カツラギ 筑前

アカキ

カモカツラ

タマカツラ 野州

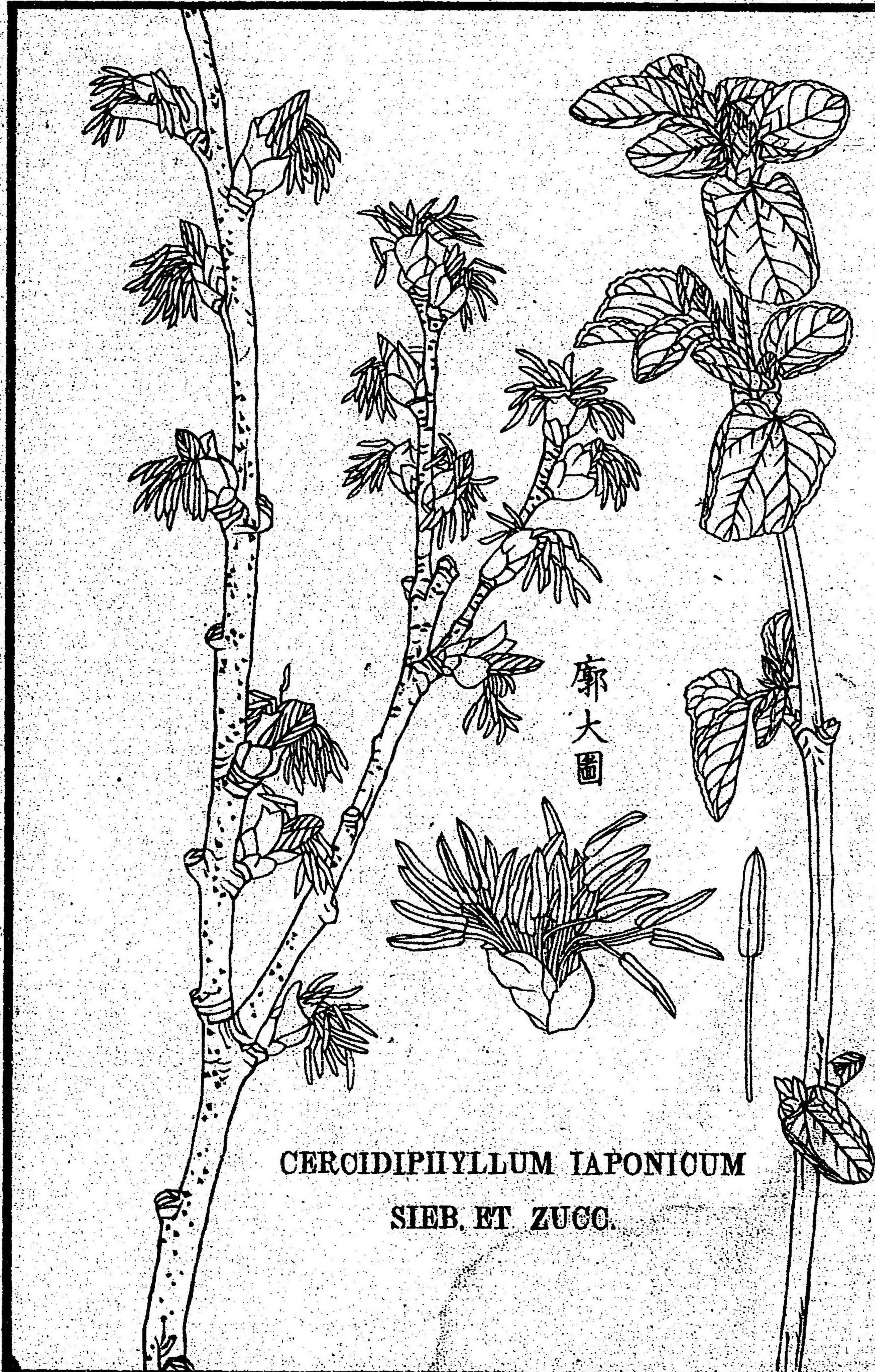
ランコ 北海道

「セルシゲヒルリユム ヤボニキユム」羅 (林氏) 第廿
二綱 第十一目

荳科

城州貴船 鞍馬木曾日光其他諸州山中ニ生ス喬木ニシテ幹
直立シ葉ハ心臟様ニシテヤルハノキ又紫荊ハチスバクノ葉ニ似
タリ新枝葉ハ共ニ紅色ヲ帶ブ雄本雌本アリ春分ノ頃
新葉未ダ生セズ先ツ花ヲ開ク之ヲ望メバ紅色頗ル美
ナリ雄花ハ外苞二三片アリ上ハ小下ハ大ニテ薔薇色
内ニ一嫩葉ト一花ヲ包ム其花色亦同シ上ノ一瓣ハ旗
瓣狀ニシテ且稍苞ニ似タリ下ハ一瓣ハ細長ニシテ末
ハ岐ヲナレ端尖リ頗ル龍骨瓣ノ狀ヲナス中ニ雄蕊三

カツラ 雄本 雄花并嫩葉



廓大圖

CERCIDIPIHYLLUM JAPONICUM
SIEB. ET ZUCC.

廓大圖



同雌本 雌花并實

E

十條許アリ其圍リニ短瓣様ノモノアリ周邊多ク缺刻
 ナス是翼瓣ノ状ヲナスモノニ似タレバ其形一定セ
 ス又雌花ハ四雌蕊亦紫色ニシテ細長ナリ實礎相接シ
 後各一莢ヲナレ四布シ七月熟シテ堅ク中ニ扁子多シ
 此材赤堅ニシテ良ナリ

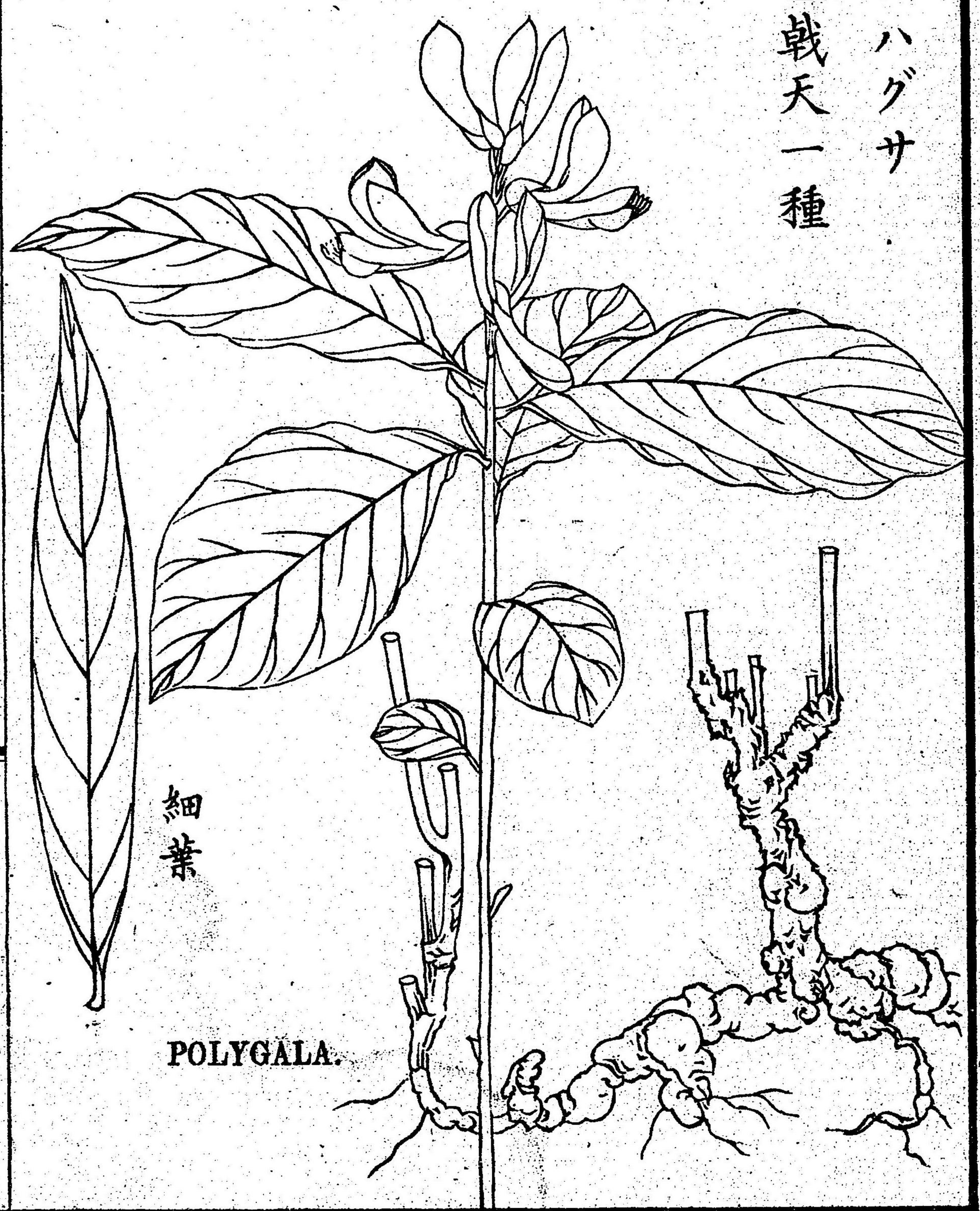
カキノハグサ

也末比々良岐 本草和名 チヤノハグサ

キメシジャウ

巴戟天一種

カキノハグサ
 巴戟天一種



本草綱目 卷之九 石部 三十三 巴戟天 一

ポリグハラ羅氏第十七綱第三目

城州白川山、遠州山、秋葉濃州、細甲州等諸州山林陰地ニ産

ス春宿根ヨリ苗ヲ生ス高サ尺許葉形柝葉ニ似テ小ク

鋸齒ナレ莖上ニ七八葉互生シ穂ヲ抽ク一ニ寸ニシ

テ此種前後鵝形花ヲ開ク壩齒花ニ似テ深黄色老レバ

漸々微紅ヲ帶グ實形扁圓大サ二三分熟レテ黒シ根ハ

黄白色長ク繩ノ如クニシテ彎曲シ且連珠ノ状ヲナス

味甘シ一種細葉ノ者ハ葉濶サ五分許長サ三四寸許アリ

カモアフヒ

アフヒクサ

モロハグサ八雲御抄

カザシグサ夫木抄

ヒカググサ藻塩草

フタバグサ同

カラアフヒ

ユキシタ木曾

サアシウデ同

カタミグサ又モロカツラヲ以テカモアフヒノ一名

トスル説アレハ安ナラズカミクサハ莫傳抄并ニ

藏玉集ニ葵トアリ但ソノ花ヲ賞スルモノニ据レバ

蜀葵ナリ又モロカツラハカツラニカモアフヒヲ掛

テ祭祀ニ用キルキノ名トシテ

テ一種ノ草名ニハ非ラス

雙葉細辛本綱雷敷説

アサリユムヒマレキユム 羅サバチエ一人獨進ノ

目(自然科目) 馬兜鈴科

城州御蔭山ヲ以テ名産トス貴船鞍馬、日光、筑波、木曾其
 他諸州山中ニ多シ春舊根ヨリ梗ヲ出シ高サ一寸餘ニ
 シテ岐ヲナシ梗上各腎臟様ノ一葉ヲ著クコノ雙葉相
 對スルノ状著シ故ニフタバアフヒノ名アリ清明前後
 此梗又ヨリ花梗ヲ出シ一花ヲ著ク下ニ向フ鐘狀ニシ
 テ實礎上ニアリ辨端三裂シテ外表ニ紅紫色十二雄一
 雌蕊柱頭六裂シ後六室ノ朔ヲナシ中ニ細子アリ莖色
 亦紅紫ヲ帶ブ根横行シ前年ノ莖ヨリ鬚根ヲ生シ土中
 ニ入り舊莖ハ地上ニアリ冬月葉枯ル加茂ノ社ニテ每
日此草ヲカツラノ枝ニ掛ケ神事ヲ行フ又五ノ
時乘ル者之ヲ簪ス此葵ハ貴船山中ニテ採ルト又或説

カモアフヒ フタバアフヒ
 雙葉細辛

廓大圖



ASARUM HYMALAECUM.

本草綱目卷之五十五 木部 五十五

地ニヨリ之ヲ出ダスト云

服部雪齋畫
横川政利校

